

昭和60年
1985

11月

横浜市関係

- 1 横浜港ノースドックを日米合同訓練参加のため米陸軍が使用したことが判明し、市は「極めて遺憾」と横浜防衛施設局長に申入書を提出。▽市内一四駅前で自転車等放置防止に関する条例による規制始まる。▽市が一四年ぶりに発行する外債（スイスフラン債）の調印式（チュリッヒ市）
- 6 シンポジウム「横浜・神奈川の情報ネットワーク構築にむけて」開催
- 9 横浜市大で連続講座「いま六浦の歴史を考える」始まる
- 13 「上行寺東遺跡を考える会」など全国の研究四二団体、上行寺東やぐら群遺跡の全面保存を求める要望書を文化庁長官に提出
- 16 ヨコハマファッションデザインコンテストで三浦市の山下潤子さんの作品がグランプリに決定。▽第三四回横浜文化賞贈呈式。奥田良三氏ら六氏に
- 17 中区山手町の横浜インターナショナル・テニス・コミュニティで国際親善のテニス大会開催、メキシコ大使ら参加
- 18 市、メキシコ大地震の災害状況と復旧活動の調査および見舞金の寄贈のため職員をメキシコ市に派遣。▽国際デザイン会議'85開催
- 19 大倉山記念館で「秋の芸術祭」始まる

自治体・国・社会

- 1 経企庁、六十年年度国民生活白書「戦後四十年、成熟の時代に向けて」報告。「中流意識」の内容を多角的に分析。▽厚生省、「健康づくりに関する意識調査」結果公表。2 1プロ野球日本選手権シリーズで阪神タイガースが初の日本一となる。3 文化勲章伝達式。黒沢明氏ら五氏に。▽三浦半島自然保護連絡協議会、シンポジウム「湘南国際村よりも緑の保全を」開催
- 9 自然海岸、六年間に五六〇km消える（環境庁調査）。▽第四回日本住宅会議開幕（横浜）
- 12 地方の時代シンポジウム「人生八十年時代を考える」開催（横浜）。15 一六〇歳以上老人で子と同居は六九％（厚生省調査）。▽客船「さるび丸」で「東京湾洋上大学」、東京湾の現状や将来の在り方を市民、学者らが論議。19 科学用語辞典をCDに収録した「電子辞典」発売される。▽米ソ首脳会談、六年半ぶりに開催。▽「厚生白書」報告。社会保障全般の問題として必需的な部分を超えるニーズについては私的サービスにゆだね、国民の選択に任せるべ

昭和60年
1985

12月

横浜市関係

- 1 「歩行禁煙運動」発祥の地・旭区で運動誕生一〇周年記念大会
- 2 市、人口三〇〇万人を突破したと発表。▽横浜エフエム放送に本免許交付
- 5 横浜をさう、開店二カ月間の売上高と来店客数公表。▽市図書館の配本車廃止問題で市内在住の文化人ら一二一人が市長に存続の陳情書提出
- 6 市会十二月定例会開会（19）
- 7 市、「横浜市行政管理指針」を自治省に提出。国・県六二項目の制度見直し要望
- 9 市、新設の「地域研究費補助金」の交付対象発表
- 10 市国際教育懇話会、市長に国際教育

自治体・国・社会

- る（24）。地域ぐるみの芸術祭めどす
- 20 市政百年「横浜・丘と海の祭り」一〇〇人委員会、「実行計画案」提出
- 22 市下水道局の「代価表」が受注業者に流れた疑いのあることが判明
- 24 横浜連帯フォーラム開催。国際問題などの市民グループ約六〇団体参加
- 26 レーモンド設計の旧山手二五〇番館を新本牧地区に復元することが決まる。
- 22 港北ニュータウンの集合住宅用地二区画を住宅・都市整備公団が住宅建設業者に卸売り
- 2 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺の藤ノ木古墳から金銅製の馬具が発見される。4 ユニバーシアード神戸大会の黒字額四、五〇〇万円と発表。5 「国際花と緑の博覧会」（花の万博）を昭和六十五年に大阪市鶴見緑地で開催することが正式承認。
- 8 法務省、教師の児童・生徒に対する体罰事件の実態調査・分析結果まとめる。▽自治省、イベント調査結果「ビバ・イベント」作成。11 農業ディルドリンが東京湾・大阪湾などの魚貝類にかなりの濃度で残留していることが判明（環境庁の調
- きたと提言。21 米ソ首脳会談に関する共同声明。23 ミニ独立国サミット（後進国首脳会議）が東京都八王子市の高尾山山頂で開催。26 第一四回六都府市首脳会議（首都圏サミット）開催（埼玉県浦和市）。27 一五九年度地盤沈下2cm以上は三地域（環境庁調査）。28 元終戦連絡事務局次長で憲法誕生秘話の生き証人、白洲次郎氏（83歳）死去

- の在り方について四四施策の提言。▽南部畜場の最終計画案に対する「市民の意見を聴く会」開催。▽市、防災功労者表彰
- 12—市、人口三〇〇万人突破を記念して昭和六十年十二月二日に出生届を出した一二六人の赤ちゃんに贈り物
- 13—山下公園で「ポートヨコハマ・ウイリントンイルミネーション」点灯式
- 19—市長、「横浜港湾計画」の改定準備を進めていることを市会で公表
- 20—横浜エフエム放送、本放送開始
- 24—金沢区の「治君事件」で並木第三小学校事故研究班が市教委に報告書提出
- ▽建設中の新「人形の家」の人形劇場の名称、「あかいくつ劇場」に決定
- 25—MM21地区で「横浜美術館」（仮称）の起工式。六十三年秋開館予定。▽市港湾局、六十年の横浜港の一〇大ニュース発表。一位は日本丸公開
- 26—市都市計画審議会、市の南部畜場の「最終計画案」を付帯意見付で了承
- 28—市、仕事納め
- 7—細郷市長、三選出馬表明。「太平洋の時代」の都市としての横浜の街づくりを力を入れることを強調
- 10—市消防局職員二人、運輸省航海訓練所の練習帆船「海王丸」に研修生として乗り組みハワイまでの実習航海に出発
- 12—市消防局、MM21地区で出初め式

（査）。12—政府各省庁、公社・公団などで二二五億円の無駄使い（会計検査院報告）。17—脳死イコール死を是認する意見、五七％（全国世論調査）。20—国民の五八・八％の世帯はエネルギー過剰摂取。一五歳以上の肥満者、男二・三％、女一・六・八％。21—建設省の懇談会、未来都市構想案発表。▽風俗営業適正化法の規制により、派遣型売春増加傾向となる（警察庁風俗白書）。22—日本の企業や大学、研究機関の科学技術研究費総額七兆八、九三九億円、GNP比二・六％で過去最高。▽昭和六十年一月から十一月までの刑法犯件数、約一四八万件で、年間で戦後最悪が確実となる（警察庁発表）。24—陶芸家の加藤唐九郎氏死去（88歳）。25—米空母の水兵がエイズの疑いで入院していることが判明（横須賀）。▽華山謙東京工業大学教授死去（46歳）。28—第二次中曾根内閣発足。

1—「国際平和年」スタート。▽川崎市の個人情報保護条例施行。3—逗子市の「自然と子供を守る会」の市議会解散請求受理される。▽京都市の古都税反対のため拝観停止中の北山鹿苑寺（金閣寺）に猟銃男らう城。4—米オクラホマ州のセコイヤ

- 13—自動車メーカー「マツダ」が同社の基礎・先端工学研究拠点として「横浜研究所」を神奈川県守屋町に設置すると発表
- 14—第一七回みなと経済振興懇談会で産業政策推進グループの報告書「東南アジアを中心とした環太平洋圏との経済交流促進について」提出
- 16—金沢区釜谷西小学校で海外からの帰国児童・父母らによる資料展「生まれの国、育った国、友だちの国」開催。▽「鎌倉文化と上行寺やぐら群」をテーマとしたシンポジウム、関東学院大学で開催（同大人文学研究所主催）
- 18—瀬谷区下瀬谷中学校で開校以来三年で一三件の教師による体罰があったことが市教委の調査で判明
- 20—新年度予算の市長査定始まる
- 21—桜木町駅改修計画について「野毛地区街づくりを考える会」が市に要望書を提出
- 23—市の先端技術産業誘致のための立地促進助成金と技術開発援助のための新技術・新製品開発助成金の交付対象決定。▽市と市観光協会が募集した観光シンボルマークは高橋聡明さん、キャッチフレーズは渡辺重明さんの作品に決定
- 27—市長、国鉄余剰人員を今後五年間で一〇〇人程度受け入れると表明
- 29—市の第一回「まちなみ景観賞」と「まちづくり功労者賞」の受賞者決定

核燃料工場で有毒ガス（六フッ化ウラン）漏出事故。9—厚生省、国立病院・療養所の統廃合経営移譲を含む再編計画公表。12—自治省、六十年「地域政策の動向」まとめる。14—厚生省「六十年国民生活実態調査」公表。年金・恩給だけに収入を頼る高齢者世帯は四一・九％。▽総務庁青少年対策本部の調査報告書「現代の青少年」発表。社会に満足五五％、どんなことをしても親を扶養する二六％で大幅減。16—六十年中の輸出、半導体三三・一％減、自動車一三・二％増。（通産省発表）▽洋画家の梅原竜三郎氏死去（97歳）。▽金融国際化にむけ自由なT B市場を創設すべき（政策構想フォーラム）。▽第九回直木賞に林真理子氏、森田誠吾氏、芥川賞に米谷ふみ子氏選ばれる。19—日ソ共同コミニケ発表。▽「自治体の土地信託制導入は余剰地に対象を限定すべき」とする報告書（自治省）21—国税庁、最高路線価発表。平均一〇・五％アップ、大都市商業地は突出。22—臨政審、第二次答申の原案を首相に提出。24—西独の前衛芸術家ヨゼフ・ボイス氏（64歳）死去。29—米宇宙連絡船（スペースシャトル）「チャレンジャー」空中爆発。

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。*印は日付不確定のため新聞発行日。